

岩手大学教育学部附属特別支援学校

研究テーマ

確かな力を育てる各教科等を合わせた指導を中心とした授業づくり（仮）

（2年次研究の1年目）

1 校内研究

（1）研究の目的

本校では、これまで学校教育目標の実現に向け、「児童生徒の主体的に活動する姿」を目指した授業づくりを進めてきた。前次研究では、児童生徒がより力を発揮できる場面が広がるようカリキュラム・マネジメントの必要性が課題として挙げられた。

新学習指導要領では、教育課程は、学習の基盤となる資質・能力、現代的な諸課題に対応できる資質・能力を育成できるよう、教科等横断的な視点で編成するもの、カリキュラム・マネジメントは、教育課程に基づいて組織的・計画的に教育活動の質の向上を図るものとされている。

本研究では、これらのことを踏まえ、学校教育目標の実現に向け、本校の「育成を目指す資質・能力」を明らかにし、教科等横断的な視点で教育課程を見直し、児童生徒が実際の生活場面で発揮できる確かな力の育成を目指す。

（2）研究内容

①各教科等を合わせた指導と各教科等の関連について

各教科等を合わせた指導において関連する各教科等の目標や内容を確認するために、※単元構想シートを作成する。

（※単元構想シートは単元が始まる前に児童生徒一人一人の学びを明らかにし、指導計画を立てるためのツールである。岩手大学教育学部プロジェクト推進支援事業教育実践研究論文集 7. 135-140）

②全校研究会

- ・第1回全校研究会（4月）
今年度の研究についての提案・協議
- ・第2回全校研究会（6月）
第1回全校授業研究会
高等部 作業学習 木工班
単元名 「附特ベンチシリーズを作ろう～注文販売をしよう～」

- ・第3回全校研究会（10月）

研究の目的、本校の「育成を目指す資質・能力」、教育課程の見直し並びに今後の研究推進について

- ・第4回全校研究会（11月）

第1回公開授業研究会

中学部 作業学習 クラフト班

単元名 「クラフト作業Ⅶ：注文販売をしよう③～みんなで『くまさんシリーズ』と『みにーわ』を作ろう～」

③本校における「育成を目指す資質・能力」の検討

本校では学校教育目標に示された「主体的に活動する姿」を実現するために、各学部や学習及び単元で期待する主体的に活動する姿を目標としている。これらの期待する姿を実現するために必要な力を本校の「育成を目指す資質・能力」と考え、その力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」の資質・能力の3つの柱で整理する。

④カリキュラム・マネジメントの実施

児童生徒の学びが学校教育全体を通してつながるように各教科等を合わせた指導や教科別の指導等の学習内容、単元期間、時期などを検討し、整理していく。

2 講演会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

3 研修会

（1）校内研修（7月27日）

「各教科等を合わせた指導」における「育成を目指す資質・能力」を踏まえた授業づくりー「単元構想シート」を取り入れた授業づくりー
講師：田淵 健（気仙光陵支援学校 副校長）

（2）校外研修

- ・北海道教育大学附属特別支援学校
動画配信による公開研究会